

平成30年度行政評価 事務事業評価シート(平成29年度実績)

事務事業コード	030301110	予算コード	01082360	従事人員(人)	投入コスト(千円)	評価	評価点	一次評価	B
事務事業名	未熟児養育医療給付事業			正規職員数 0.1	国庫支出金 914	有効性	A	未熟児養育医療は身体の発育が未熟なまま生れ、入院を必要とする乳児の医療費を助成し、保護者の負担軽減につながることから、引き続き支援が必要である。	
担当課	子育て支援課			嘱託職員数 0	府支出金 457				
根拠法令等	法定受託以外の法令			臨時職員数 0	市債 0	効率性	B		
	■法律・政令・省令 ■条例・規則 ■要綱・要領			歳出(千円)	その他 609				
	母子保健法			人件費総額 822	一般財源 1,292	妥当性	B		
	泉佐野市養育医療の給付に係る費用の徴収に関する規則				減価償却費 0				
事務事業類型	運営事業				事業費 2,450	受益者負担	B	事務事業実施内容 医療費の一部を助成することにより、保護者の負担を軽減して、最良の医療環境の下で未熟児の健全な発育を促すことができた。	
実施手法	市直営			フルコスト(千円)	3,272	緊急性	C		
対象				市民1人当たりコスト(円)	33				
特定の市民	対象数	14名		活動指標	H29実績	公的関与	A		
出生時体重が2,000g以下または身体の発育が未熟のまま生まれ、入院治療を必要とする乳児				申請件数	14.0				
事業の内容						実施主体・委託化	B		
全国の指定養育医療機関において、出生時体重が2,000g以下または身体の発育が未熟のまま生まれ、入院治療を必要とする乳児に対し、その治療に必要な医療費を助成する制度である。						他の事務事業との関連	D		
				成果指標	H29実績	透明性	C		
				給付件数	28.0	財政健全化計画	該当なし		
						財政健全化の取組	該当なし		
						改革改善プラン達成度	該当なし		
				コスト指標	H29実績				
事業の目的				給付1件あたりの事業費	116,857.0				
出生体重が2,000g以下または発育が未熟のまま生まれ、入院治療を必要とする乳児に対し、健康に成長することを期して、医療費を助成するものである。									